第16回福島県U15バスケットボール選手権大会
兼 Jr.ウインターカップ 第6回全国U15バスケットボール選手権大会福島県予選会
実施要項

1. 主 催 福島県バスケットボール協会
2. 主 管 福島県バスケットボール協会U15部会 会津バスケットボール協会
会津バスケットボール協会U15部会
3. 後 援 喜多方市教育委員会
4. 期 日 2025年11月15日(土) 16日(日) ※2日間
5. 会 場 2025年11月15日(土) 押切川公園体育館 (A・B)
喜多方市立第一中学校 (C) 喜多方市立第三中学校 (D)
16日(日) 押切川公園体育館 (A・B)
6. 大会方式 16チームによるトーナメント方式とする。
7. 競技規則 (1) 最新のバスケットボール競技規則 (official Basketball Rules) による。
但し、1クォーター8分とする。
(2) マンツーマンディフェンスの基準規則による。
(3) ユニフォームは、最新の公益財団法人日本バスケットボール協会ユニフォーム規則による。また、原則として、組合せ番号が若いチームを淡色(白色)とするが、2回戦以降については、対戦する両チームの話し合いの上、変更しても良い。その際、両チーム淡色は不可とし、濃色の際は同系色以外の着用を認めるものとし、試合日前日までに大会運営本部に申し出て許可を得ることとする。
(4) 外国籍選手 (JBA 基本規程に基づく) の出場は、コート上5名のうち1名以内とする。
8. 参加資格 (1) 参加チーム
 - ① 2025年度において、一般社団法人福島県バスケットボール協会を経て、公益財団法人日本バスケットボール協会U15カテゴリーに加盟が認められたチームであること。
 - ② 「令和7年度福島県U15リーグ戦」にエントリーしたチームであること。
 - ③ 各地区予選において、出場権を獲得したチームであること。
男子出場チーム数：県北(2) 県中(4) 県南(2) 会津(4) 相双(1) いわき(2)
* 県北3位といわき3位で代表決定戦を行い、最終1枠を決定する。
女子出場チーム数：県北(3) 県中(4) 県南(3) 会津(3) 相双(1) いわき(1)
* 県北4位と県南4位で代表決定戦を行い、最終1枠を決定する。
* 代表決定戦は10月19日(日)に県北地区 (伊達中学校) で実施する。(2) 競技者登録
 - ① 2025年度において、一般社団法人福島県バスケットボール協会を経て、公益財団法人日本バスケットボール協会U15カテゴリーに加盟が認められたチームに、**2025年8月31日(日)までにJBA登録 (移籍・追加登録も含む) された競技者**であること。(移籍については、所属都道府県協会へ移籍申請書を提出し、受理されていること) また、同一年度での出場は、都道府県予選会・本選ともに1回ずつとし、複数の都道府県代表チームで出場することはできない。チーム代表者は、**「全国U15選手権大会出場に関する誓約書」をPDFにし、そのデータをE-mailにて事務局に提出しなければならない。また、代表印を押した原本(紙媒体)は大会受付へ提出すること。**
 - ② 選手の年齢は、2025年4月1日時点で10歳以上15歳未満とする。但し、2025年4月1日時点で12歳未満の競技者は各チーム2名以内のエントリーを認める。

③ 外国人選手（JBA基本規定に基づく）の大会エントリーは1チームあたり2名までとする。

(3) コーチ／チーム責任者

- ① ベンチで指揮を執るコーチは**JBA公認D級コーチ以上**を保有していること。なお、ベンチで指揮を執るコーチは、試合前、テーブルオフィシャルズ（スコアラーステーブル）にてスコアシートにサインする際、必ず**JBA公認コーチ登録証**を提示すること。また試合中は**JBA公認コーチ登録証**を首から下げること。また、スタッフ（コーチ、Aコーチ、マネージャー、トレーナー、ドクター）は本大会に男女それぞれ1チームまでしかエントリーすることはできない。
- ② チーム責任者は、年齢が2025年4月2日現在20歳以上の者で、チームを代表して対外的な窓口となり、参加にかかる手続き等ができること。また、チームに帯同しチームの最終責任者として活動できる者であること。ただし、チーム責任者が学校長の場合、コーチまたはアシスタントコーチが部活動顧問または部活動指導員であれば、大会参加中はチーム責任者の役割を代行できるものとする。

9. チーム構成 1チームの大会登録は、スタッフ4名以内（コーチ、アシスタントコーチ、チーム責任者、マネージャー）、選手15名以内とする。その他、トレーナーを帯同することができる。ただし、参加申込書とともに大会事務局にトレーナー申請書をPDFデータで提出する。また、トレーナーはトレーナー申請書に記載されている遵守事項を守ること。

10. 申し込み方法及び期日

2025年**10月16日(木)15:00**までに、**TeamJBAと参加申込書の両方で申し込みを行う**こと。両方で申し込みを完了していないチームの参加を認めない。

* 代表決定戦で参加権を得たチームは2025年**10月21日(火)15:00**までに申し込みを完了させること。

- (1) TeamJBAで申し込みをすること。
- (2) 以下の4点（トレーナー申請を行う場合は5点）を下記【連絡先】宛にE-mail①②（2カ所）に添付して送付すること。
 - ① 福島県バスケットボール協会のホームページから参加申込書をダウンロードして、必要事項を入力したもの
 - ② ユニフォーム姿で写した集合写真のデータ（プログラム用シートには貼り付けない）
 - ③ 福島県バスケットボール協会のホームページから「全国U15選手権大会出場に関する誓約書」をダウンロードして、必要事項を記入する。その用紙にチーム責任者の印鑑を押し、PDFにしたデータ（**代表印を押しした原本(紙媒体)は、大会当日に受付に提出する**）
 - ④ ①で作成した参加申込書に代表印を押し、PDFにしたデータ（**代表印を押しした原本(紙媒体)の提出の必要はない**）
※①～④の提出ファイル名は「性別地区チーム名(〇〇)」とすること。
例) 男子会津地区磐梯山中学校(〇〇)
〇〇には、『申込書』『写真』を記入する。
※トレーナー登録申請を行う場合は、福島県バスケットボール協会のホームページから「トレーナー登録申請書」をダウンロードして必要事項を記入する。その用紙にチーム責任者の印鑑を押し、PDFにしたデータを下記のE-mailアドレスに提出する。

【連絡先】

〒966-0834 福島県喜多方市谷地田上7573番地
喜多方市立第一中学校 柳沼 勝
Tel 0241-22-0274 FAX 0241-23-1643

E-mail:①yaginuma.suguru@fcs.ed.jp ②aizujrbasket2021@gmail.com

※①②の2カ所に送信すること。

(3) TeamJBAと参加申込書の記載内容が異なるように申し込みを行うこと。

11. 組み合わせ抽選会

県協会長、U15部会事務局長立ち会いで主管協会の責任において決定し通知する。

12. 代表者会議

実施しない。

13. 開会式

実施しない。

14. 閉会式

実施する。男子決勝戦後に行う。

15. 参加費

1チーム 12,000円とする。TeamJBAの振り込みで2025年10月21日(火)までに支払いをすること。(コンビニ支払いのみ)

16. エントリー変更

(1) エントリー変更は、「参加申込書」のファイルにあるエントリー変更用紙に入れ、大会前日(11月14日)15:00までに上記のE-mailアドレス①に添付ファイルを送り申し出なければならない。但し、エントリー変更を行う選手及びスタッフについては、本項「8.参加資格」を満たしていること。

(2) エントリー変更において、選手の変更があってもユニフォーム番号のみの変更はできない。

17. 表彰

(1) 優勝、準優勝、第3位のチームを表彰する。

(2) 個人賞：男女それぞれベスト5を表彰する。

18. ベンチ

組み合わせ番号の若いチームがテーブルオフィシャルズ(スコアラーズテーブル)に向かって右側とする。

19. 起立委員会

本大会における手続きや競技会等について、規律ガイドラインに定める手続きに沿って、大会規律委員会で速やかに対応する。

20. テーブルオフィシャルズ

地元役員と出場チームがテーブルオフィシャルズを担うこととする。

※割当は事前に事務局より、出場チームに連絡をする。

21. 大会使用球

モルテンBG5000【男子：7号球(B7G5000) 女子：6号球(B6G5000)】

22. その他

(1) 本大会で1位のチームは、2026年1月4日(日)～8日(木)に京王アリーナTOKYO(旧名：東京都の武蔵野の森総合スポーツプラザ)で行われる「Jr.ウインターカップ2025-26 2025年度第6回全国U15バスケットボール選手権大会」への出場権を得る。

(2) チームスタッフ(コーチ、Aコーチ、マネージャー、トレーナー、ドクター)は、各地区予選会でエントリーしたチーム以外のチームでエントリーすることはできない。

(3) 大会中並びに競技中における事故等については、応急手当のみとし、他は個人またはチームの責任とする。

(4) 宿泊・弁当については、各チームで手配する。

(5) 提出書類に記載されたデータ(画像データを含む)は、主催者が大会運営のため大会プログラムに使用するほか、大会報道目的として報道機関に提供することがある。